

PROGRAMA ASSIGNATURA

CODI ASSIGNATURA: 25588
NOM ASSIGNATURA: Lengua japonesa avanzada
Shiraishi

ANY ACADÈMIC: 2008-2009
PROFESSOR/A: Minoru

CICLE:
CURS:
SEMESTRE: primer
MAIL:Minoru.Shiraishi@uab.es
CREDITS:9

DESPATX: 1009
TELÈFON: 2467
E-

HORARI DESPATX:
DL-12,30 -
14,30.DC.12,30-14.30.
DV.10,30 -12,30.

HORES SETMANALS: 6

時間数：一学期4ヶ月、週6時間 x 12週、一回2時間 x 36回

時間割：月、水、金 16:30 - 18:30

1. 対象： 中級、上級の定義付けはあまり明確ではないが、ここでは300時間ぐらい日本語を既に学習し、初級の文型、語彙、漢字を習得した人を対象にする。
2. 目的： 書き言葉、話し言葉の区別ができるようにする。蓄積された言語知識を使用して、種類の異なる文章読解および作文ができるようにする。
3. 方法： 実践法に基づく、コミュニケーションを目的とした自立学習。調査、考察、内省を行動を基に、共同学習によって発表、評価、意見交換をしい相互刺激を受けながら、自分の設計した目的を達成する。教室内での発話練習のみでなく、課外でのインターアクション授業も予定する。
 - a. 授業はすべて日本語で行う。
 - b. 学習者は学習目的、予定、問題点、解決法、学習事項等を記録し、自主的学習法を身に付ける。
 - c. 文型構文、語彙、表記に関しては、学生は自主学習を行い、疑問点は、授業で質疑応答形式と学生教師参加の討論で明らかにしていく。
 - d. 教師は学生との日本語やりとりにより、内容理解チェックと説明補充、学習指導等のフィードバックを繰り返す。
 - e. 内容： 教師が選択したテーマと教材を使用して、テーマについての意見交換発表、読解、自主学習、表記、語彙に関する質疑応答、作文、

意見発表、レポート作成提出の6段階を踏む。42回の二コマ授業を通して、5ないし6つのテーマを扱う。

4. 教材： photocopyを出すので学生はそれを随時購入するか、 Campus virtual を利用する。
5. 評価： テーマごとの読解・ 表記評価40%、 作文評価30%、 発表20%、 レポート10%の総合とする。 期末試験は行わない。
 - a. 出席は特に強制しないが、 提出物は期限を厳守すること。 提出物、 小テストの期限外提出は20%減点とする。
6. 追試は800字前後の作文。 100%